

横浜労災病院で原発性アルドステロン症と診断された患者さんへ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、横浜労災病院では、以前に「アルドステロン産生腺腫と特発性アルドステロン症の新たな鑑別診断法開発のための研究」のご協力者からいただいた検体・診療情報等を使って、下記研究課題を新たに下記の共同研究機関と協力して実施するために、検体・診療情報等を下記研究代表機関に対して提供しています。

この新たな共同研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の本施設の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本施設の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名] 内分泌、糖代謝、骨代謝、腎、悪性腫瘍、自己免疫疾患における病態解明のための保険未収載検査および次世代シーケンサーの利用

[共同研究の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：東京大学医学部附属病院 難治性骨疾患開発講座 伊東 伸朗

本研究に関する問い合わせ先：同上

電話：03-3815-5411（代表）（応対可能時間：平日9時～16時）

[利用・提供の対象となる方]

2013年2月1日から内分泌・糖尿病センターにて原発性アルドステロン症の診療を受けられ、「アルドステロン産生腺腫と特発性アルドステロン症の新たな鑑別診断法開発のための研究」（現研究責任者：鶴谷悠也）に同意された方。

[利用・提供している検体・診療情報等の項目]

検体：血清

診療情報等：生年月、年齢、性別、疾患の診断や治療に関わる病歴や身体所見などの臨床情報

[利用・提供の目的]

原発性アルドステロン症と診断された患者の血清に、特異的な自己抗体がないかを検索し、また次世代シーケンサーにて遺伝子異常の有無を検査する。

[利益相反について]

利益相反の状況は、研究代表機関においては利益相反委員会に報告しその指示を受けて適切に管理します。共同研究機関においてはそれぞれの機関のルールにのっとり適切に報告・管理されます。

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：研究の実施許可日より 2030 年 3 月 31 日まで

提供方法：☐直接手渡し ☒郵送・宅配 ☒電子的配信 ☐その他（ ）

検体は郵送・宅配、診療情報等は電子的配信にて、研究代表機関である東京大学医学部附属病院に提供します。

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

横浜労災病院臨床研究倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[横浜労災病院における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：鶴谷 悠也（横浜労災病院 内分泌・糖尿病センター）

機関長：三上 容司（横浜労災病院 病院長）

研究内容の問い合わせ担当者：鶴谷 悠也（横浜労災病院 内分泌・糖尿病センター）

電話：（応対可能時間：平日 9 時～16 時） 045-474-8111

作成日：2025 年 12 月 16 日

第 1.0 版